

地域福祉分科会



6月23日

議案第26号 令和8年度鈴鹿市一般会計補正予算(第1号)

住民票への氏名の振り仮名記載

○総合住民情報システム費 319万円

【概要】 戸籍法などの改正による戸籍などへの氏名の振り仮名記載に伴い、国からの補助金により、住民票への氏名の振り仮名登録に必要な住民記録システムなどの作業委託にかかる経費を計上するもの。

質疑 振り仮名登録の進捗状況は。

答弁 戸籍法の改正から5月25日で1年が経過した。通知した振り仮名が間違っていた場合、この1年以内に届け出いただくことになっており、その件数が773件であった。

今後については、届けの必要のない方の戸籍を一括記載していく作業を行うことになるが、戸籍システムへの負荷などを考慮し、国からスケジュールが示されている。本市は、9月16日から11月10日まで（予備日を含む）の期間に、戸籍に振り仮名を記載する作業を実施する。

質疑 届け出をされなかった方は、後から、振り仮名を修正できるのか。

答弁 今後、戸籍に記載された振り仮名を確認したときに、間違っていることがあれば修正可能である。

産業建設分科会



6月22日

議案第26号 令和8年度鈴鹿市一般会計補正予算(第1号)

農業の担い手を育成および確保するための支援

○地域農業構造転換支援事業費補助金 9,068万円

【概要】 農業者の急速な減少に対応し、農業生産や地域の維持を目的とした担い手の育成および確保のために、地域の中核となって農地を引き受ける担い手の経営改善に必要な農業用機械や施設の導入を支援するための補助金を計上するもの。

質疑 機械や施設の導入支援とは、買い替えではなく新規ということか。また、具体的な内容は。

答弁 農業の経営規模拡大のための支援であり、現在よりも容量が大きな機械や施設の導入などが補助対象となる。具体的な補助の対象は、施設については育苗ハウスなどが中心で、機械についてはコンバインなどである。

質疑 補助事業について、どのように農業者へ情報発信しているのか。

答弁 市のウェブサイトへの掲載や、県、農協を通じて情報提供のあった農業者に対しては個別に窓口や電話で案内している。